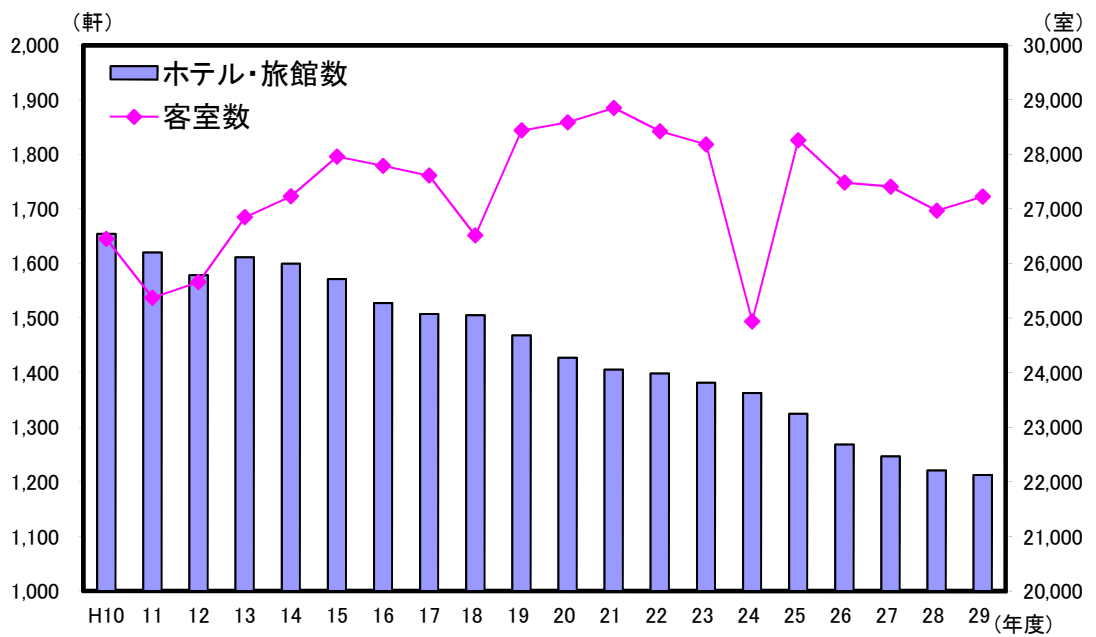


熊本のホテル・旅館数と客室数の推移



解 説

【概要】
平成10年度からの熊本県のホテル・旅館数と客室数の推移をみると、施設数は、平成10年度に1,655軒あったが、平成29年度には1,213軒まで減少している。
一方、客室数は、平成16年度以降減少傾向が続いていたが、平成19年度に増加に転じ、平成21年度には28,856室まで増加した。平成22年度からは減少傾向となったが、平成29年度は4年ぶりに増加し27,232室となった。

○ホテル
客室数10室以上であり、各室の床面積は9㎡以上、寝具は洋式で、出入口及び窓は施錠可能で、適当な数の洋式浴室又はシャワー室を有すること。

○旅館
客室5室以上で、和式の構造設備による各室の床面積が7㎡以上であること。

- 一万人当たりホテル・旅館数
ホテル・旅館数÷推計人口×10,000
- 温泉
地中から湧出する温水・鉱水及び水蒸気その他のガスで、摂氏25度以上の温度又は別に定める物質（19物質）のいずれか一つの基準量を満たすもの。
- 温泉地数
宿泊施設のある温泉地の数を計上した。
- 温泉湧出量
宿泊施設のある温泉地の湧出量

資 料 出 所	調 査 期 日	調査周期
*1、*2「衛生行政報告例」 厚生労働省 *3、*4「温泉利用状況」 環境省	平成29年度末 平成29年3月末	毎年 毎年